

e ラーニングの試行

第 31 回技術士全国大会において技術交流研究会では、第 4 分科会（防災研究会）の協力を得ながら、これまで取り組んできた e ラーニングのデモンストレーションを実施しました（写真 1、写真 2）。

会場は、参加者がたくさん集まる 3 階エレベータ横のロビーフロアに展示スペースと仮想的に遠隔地の環境を配備し、オンデマンド型およびライブ型の e ラーニングを実践的な形式でセットしました。

オンデマンド型 e ラーニングは、図－1 に示すように日本技術士会北海道支部・北海道技術士センターのホームページ（<http://www.ipej-hokkaido.jp>）の中にある当研究会コンテンツにて一部が運用されているもので、平成 15 年度から蓄積してきた講演内容を掲示してあり、インターネットさえあればいつでもどこでもこれを見て学習できる教材的なものです。

【オンデマンド型 e ラーニング実施状況】



写真－1 オンデマンド型 e ラーニングの展示



写真－2 オンデマンド型 e ラーニングの説明



図－1 e ラーニング事例

一方、ライブ型 e ラーニングは、NTT コムウェア北海道株式会社の協力を得て実施しました（図－2）。

このシステムでは、第 4 分科会の講演やパネルディスカッションの模様をテレビ会議システムのごとく聴講し、その後にはリアルタイムな意見交換も行いました（写真－3～写真－5）。

テレビ会議システムとライブ型 e ラーニングの違いは、費用が数十分の 1 で済むことやインターネット回線であるため全世界と対話することも可能なこと、撮影された講演内容をオンデマンド型 e ラーニングに活用できることなどが揚げられます。

本試行の感想としては、これらは技術的に先端な試みにも関わらず、参加者があまりにも自然に受け入れており、このような試みが未だ実用化されていないことの方が不自然に感じられたということです。

アンケート行った回答を見ても、概ね 90%がこうしたシステムの必要性を感じており、今後は資質向上や社会貢献のツールとして、周囲との連携を図りながら推進していこうと考えています。

【ライブ型 e ラーニング実施状況】

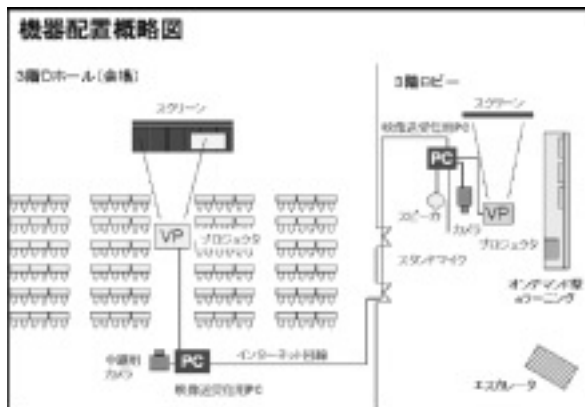


図-2 ライブ型eラーニングの機器配置



写真-3 ライブ型eラーニング本会場（第4分科会）



写真-4 ロビーに映し出された本会場の講演状況



写真-5 ライブ型eラーニングによる質疑応答

最後に、アンケートにおける自由記述意見の中から主なものを紹介します。

- ・地域を越えた研修会に利用ができる。期待したい。
- ・全国各支部を連携した会合に適している。
- ・東京など中央での分科会活動へ遠隔参加できるようになると有難い。
- ・東北でも実施しようと思っている。

※ちなみに、札幌以外の道内技術士5人に聞いたところ、全員ライブ型を希望していた。

(文責：技術交流研究会 岡田 昌樹)

毎年9月に開催している研究会は、技術士全国大会開催のためお休みしましたが、12月から通常の活動を行います。

会員以外の方も参加できます。多数、ご出席下さい。また、入会希望の方は、北海道支部事務局までご連絡下さい。

平成 16 年度 活動予定表

開催日	活 動 内 容
平成 16 年 12 月 2 日 木 曜 日	<p>■講 演 会</p> <p>テーマ：「(仮称) 工学系・生物系大学の 研究現場」</p> <p>講 師：工学系及び生物系大学の先生に 研究現場を紹介いただく。</p>
平成 17 年 3 月 3 日 木 曜 日	<p>■講 演 会</p> <p>テーマ：「文化系大学の研究現場」</p> <p>講 師：文化系大学の先生に研究現場を 紹介いただく</p>
<p>開催場所：KKR ホテル札幌</p> <p>開催時間：14：00～17：30</p> <p>参 加 費：1,000 円（技術士会会員）、2,000 円（非会員）</p> <p>定 員：50 名</p>	

(文責：技術交流研究会幹事 吉野 大仁)